

# 《温故館クイズ解説》

1 温故館は 1918(大正7)年に海老名村役場として建てられた建物です。  
1982(昭和57)年に郷土資料館になりました。 ②

2 縄文時代 ① ④

- 土器に縄目の模様がつけられていたので「縄文土器」とよばれています。  
模様は縄目だけではなく、いろいろな種類の模様があります。
- 鉄の道具のない時代で、黒曜石などの石鏃(弓矢の先)が使われていました。

弥生時代 ② ③

- 本郷弥生町(東京都文京区)から発見されたことから「弥生土器」とよばれるようになりました。機能を優先し、平面的な模様が多くなり、赤く塗られたものもみられるようになりました。
- 「方形周溝墓」は、低い四角形の盛り土と四辺を囲む溝からなるお墓です。  
弥生時代から古墳時代の初め頃まで造られています。

3 ① 上今泉にある神奈川県内でも最も古いといわれている古墳です

② 国分南にある海老名市内で1番大きな前方後円墳です

③ 厚木市の古墳です。家や人のはにわがたくさん見つかっています

④ 逗子市桜山と三浦郡葉山町長柄にまたがる2つの大型前方後円墳です。

⑤ 杉久保第一児童公園にある2つの古墳です。 ① ② ⑤

4 相模国分寺は、奈良時代に聖武天皇の詔により海老名に設置されました。

塔跡に残された礎石の間隔から、高さ約65メートルの七重塔が建っていたと

推定されます。海老名駅前海老名中央公園内の七重塔のモニュメントはその

約三分の一の大きさです。 ③

5 板状の石で造られた供養碑。鎌倉時代から室町時代の武士たちが亡くなった

人を供養するために造ったもので、石は埼玉県の秩父地方のものです。ふしぎな

文字は「梵字」といって、仏様をあらわします。 ③